



何かの理由でどうしても読まねばならぬと思って読む本は、けっして諸君の友達にはならない。(ホウウェルス = アメリカの作家)

県立図書館「打って出る司書」の巡回訪問終了 市町村立図書館・公民館図書室の取組紹介

今年度予定していた「打って出る司書」による巡回訪問が、12月で終了しました。延べ156館・室を訪問し、地域の実情に応じた支援や情報提供を行ってきました。今回は、今年度の訪問から特色ある取組をしている図書館をご紹介します。

小坂町立小坂図書館では、今年度、県立図書館からの助言や情報提供を生かして、館内環境の大きがかりな改善を行っています。閲覧室の古い本を整理したり、貸出カウンター周辺に図書展示コーナーを設けたりした結果、館内が明るいイメージに変わり、



入口すぐの書架を使ったテーマ展示

大人も子どもも入りやすい雰囲気となりました。他にも様々な読書イベントの開催など、町民が読書を楽しむ拠点として整備が進みつつあります。

由利本荘市由利図書館では、今年度、県立図書館から借りたシニア向けの展示セットが、利用者に好評だったそうです。そこで、大活字本やシニアライフに関する本等を置いた「シニアコーナー」を常設することにしました。シニア世代の利用者が、一か

所で関連する本を選ぶことができるように、これまであった「健康コーナー」の隣に設置するという工夫がなされています。



関連図書が隣り合う「シニアコーナー」

湯沢市立雄勝図書館は、雄勝文化会館の4階にあります。窓からは明るい光が差し込み、四季折々の景色を見渡すことができます。この図書館では、今年度新たに「ビジネス応援コーナー」を設置しました。ビジネス関連の本（経済や資格等）やハローワークの求人情報等を揃え、本の貸出や情報提供を行っています。



ビジネス応援コーナー

また、その他の本も、利用者の目を楽しませる展示がなされ、貸出されています。

巡回訪問している司書は、「県内の市町村立図書館・公民館図書室を訪問する度に、各図書館の利用サービスの改善や新しい取組等、各施設の職員の皆さんの努力を感じるようになりました。少しずつではありますが、秋田県内の図書館等の芽が育っているのかもしれない。今後も県立図書館では図書館等の利用増を図るために、様々な支援を行っていきたいと考えています。」と、今年度の活動を振り返っています。

なお、今後も出前研修は随時受け付けておりますので、県立図書館（018-866-8400）にご相談ください。

「打って出る司書」

出前研修 in 大潟村公民館

1月21日、大潟村公民館図書室からの求めに応じて、県立図書館の「打って出る司書」が、『資料展示ワークショップ』の出前研修を行いました。公民館図書室や村内学校等で、図書整理や読み聞かせをしているボランティアなど11名が参加し、テーマの設定の仕方や本の選び方、効果的な展示のポイントについて説明を受けた後で、実際に図書室に展示コーナーを設置しました。



アイデアを出し合ってタイトルとキャッチコピーをつくりました



完成した展示を全員で評価しました

2グループに分かれ、一般図書向け『心も体もすこやかに～春を迎えるために～』と、児童図書向け『春はもうすぐ』のテーマ展示を完成させると、図書室内が明るくなりました。

「県民読書の日」制定を記念して 読書推進功労者を表彰

県は、今年度、県民の読書活動を一層推進するため、11月1日を「県民読書の日」に制定しました。その記念事業として、これまで読書活動の推進に功績のあった4団体、2個人を功労者として表彰しました。

大館市立中央図書館後援会（大館市）

図書館に図書寄贈や活動費の助成を行い、運営に協力しています。また、文化講演会や「図書館でホットタイム」の開催、文学散歩や読書会の実施、会報発行など、多様な活動を行っています。

図書館ボランティアグループ れんげ草の会（横手市）

雄物川図書館でのおはなし会を毎月実施しています。また、市内の保育園児、小学生、中学生に定期的に読み聞かせを実施し、雄物川高等学校の授業で、絵本や読み聞かせについて教えています。

石川久悦氏（潟上市）

旧天王町の図書館協議会委員を務め、地域資料や歴史資料の蔵書についてアドバイザー的役割を担っています。また、「葦の会」をはじめとする様々な読書サークルの講師も務めています。

10月25日の表彰式（於：秋田テルサ）



今回、功労者として表彰された方々は、20年以上継続して県内各地の読書活動を推進してきました。読み聞かせ会の開催や読み聞かせ指導を行ったり、図書館主催講座の講師を務めたりするほか、図書館業務への手助けなどにも尽力しています。

図書館ボランティア「ホワイトブックス」（能代市）

能代市立図書館を拠点に、乳児から大人まで様々な年代に応じたおはなし会を実施しています。また、要望に応じて学校や施設におはなしを「出前」する活動も大好評です。

読み聞かせボランティアグループ 絵本とあそぼの会（羽後町）

町立図書館での定例おはなし会や読み聞かせのほか、絵本ライブや講演会にも協力しています。お出かけおはなし会を町内6校の小学校で実施するほか、高校生への読み聞かせ指導も行いました。

齋藤幸子氏（湯沢市）

湯沢市図書館協議会委員を務め読書推進に尽力しています。「宅配ボランティア」「図書館施設ボランティア」に、結成当初から率先して関わり、現在も要として積極的に活動しています。

生涯にわたる大人たちの読書活動 ～継続し多様な楽しみを満喫～

県内には、読書の楽しさを誰かに伝えたい、読書の感動を誰かと共有したいなどの思いから、読書グループを作って活動している人たちが、1,300人以上います。（「2013年度全国読書グループ総覧」H26.3.31発行）読書グループの6割以上は実演グループで、この紙面においても、幼少期からの読書活動を支援する「読み聞かせボランティア」の活動として紹介してきました。

それに対して、4割近くを占めるのが読書会や研究会です。誰かのためというよりも、自分の読書の楽しみを深めるために活動しています。これらの会は、昭和以前の発足が多く、会員の年齢も高いことから、長きにわたり読書でつながっている人たちが多いと考えられます。

中でも、「横手読書会」は大正2年から活動を続け、昨年100周年を祝いました。本を読んで感想

を述べ合う読書会形式が、戦後まもなく講演を聴く形に変わってきたものの、年間講演会を9回、会員研修を1回開催し、新たな情報で知的好奇心を満たしながら学び続けています。

また、昨年、創立50周年・例会1100回を迎えたのは「本荘お母さん読書会」。本を読んで感想を述べる発表者と意見交換することで年間20冊前後の本について語り合うほか、他地域の読書会との交流会、文学の舞台を巡る研修旅行、文集「さわらび」の発行など、多様な活動を楽しんでいきます。



活動の節目を祝う会員の皆さん

秋田県教育庁生涯学習課
生涯学習・読書推進班



URL <http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>